

各地で広がる食品リサイクルループ

ユニーは店舗を営業している各地域で食品リサイクルループを構築し、循環の環を継続していくことを目標としています。食品リサイクルループは、未利用食品を再生利用するだけでなく、消費者と農業生産者を結び、地産地消を実現する有効な手段でもあります。トレーサビリティも明確であり食の安全・安心にもつながります。さらに、食品リサイクル法の「再生利用事業計画」の認定を受けることによりリサイクルループの有効性と継続性を高めています。現在、店舗所在地の1府18県で15件のリサイクルループを構築しています（原発事故影響による福島県を除く）。



食品リサイクル普及に向けての取り組み

農業体験と生産者との交流

食品リサイクルループで生産された作物の収穫体験とその生産者との交流会を定期的に開いています。消費者には、田畑の土に触れて、収穫の喜びと食べ物の大切さを実感してもらうほか、安全・安心な農産物作りにかかる生産者の努力を知っていただきました。



田植体験 (JAあいち中央)

JAあいち海部 エコ部会

食品リサイクルループに当初から協力していただき地域循環型農業を実践しているJAあいち海部エコ部会では、毎年総会を開催し前年度の総括と次年度の計画を承認しています。エコ部会役員、仲卸業者、ユニー青果部で定期的に会合をもち、互いの意見のすりあわせを行い、リサイクルループの継続的発展を図っています。



第7回JAあいち海部エコ部会総会
JAあいち海部 エコ部会総会
挨拶をする河上青果部長